

第2回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成30年6月26日（火）

2 場所 新見市役所 第4委員会室

3 出席状況 出席8名

部会長	早瀬 正弘	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	岡崎 愛	出席
委員	田原 裕之	出席	委員	清水眞理子	出席
委員	川上 博文	出席	委員	足立 卓也	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 2名

5 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

各委員の発言要旨は次のとおり

- ・前回の議論では、新見市版のポイント制度についてということで、意見集約が図られたと思う。
- ・「新見市におけるポイント制度」とということで、高齢者福祉だけではなく、若者から高齢者まで住みよい環境づくりの観点からの議論が必要ではないか。
- ・前回は、子供から大人までみんなが参加できて、市外からも人が来たくなるようなポイント制度をということで、整理したと思う。
- ・笠岡の取組として、認定NPO法人こども劇場笠岡センターで、子供から高齢者まで困っている人には誰でも、「ふれあい切符」を発行し、それぞれが希望するサービスを提供するというシステムを運用している。とてもいい取組だと思う。
- ・介護分野のポイント制度は、他市の事例があるのでそれを参考に提言できると思うので、今回は、新たな新見市版のポイント制度を考えることで、名称も工夫して、市民のボランティア意識の向上などにつながればいいと思う。
- ・地域を良くしていこうというボランティア意識を高めるのはいいことで、地域の困りごとに対応して、市民全体が恩恵を受けるポイント制度を考えたらいいので

はないか。

- ・メインテーマとしては、「ともに支え合うあたたかいまちづくり」、サブテーマとして「ポイント制で地域活性化」という方向で議論してはどうか。
- ・子供の貧困が全国的な課題となっているが、子供を犠牲するようなことがあってはならない。実態として市内でもないとは言えないと思う。ポイント制度の中でカバーできればと思う。